

ライチ便り No. 2

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2008年8月号～

福岡市姉妹都市委員会広州部会に加入しました

福岡市は海外7つの都市と姉妹友好都市関係を結んでいます。アメリカのオークランド、中国の広州、フランスのボルドー、ニュージーランドのオークランド、マレーシアのイポー、韓国の釜山、アメリカのアトランタ（締結順）です。これら姉妹都市との交流を官民協働で進めるために「福岡市姉妹都市委員会」があり、その下にオークランド部会、広州部会等都市別部会があります。

我が福岡広州ライチ倶楽部も姉妹都市委員会に加入し、6月26日の広州部会に千葉事務局長が、7月18日に開催された総会には河部会長に代わって木田理事が参加しました。

在広州日本国総領事館首席領事による講演会

7月28日、広州から帰国中の瀬野清水首席領事を福岡にお招きして、「広州の今とこれから」と題した講演会を開催しました。瀬野首席領事は福岡市と広州市の共通点をあげながら、かつて“改革開放の旗手”として急成長した広州が、この十年來の沈滞を克服し新たな躍進を遂げようと、3つの改革を進めていることを詳しく話されました。46人の参加者は、パワーポイントの資料を見ながら、ユーモアも交えた講話を興味深く聞いていました。

懇親会の部では、冒頭で河部会長が挨拶にたち、「来年は友好都市締結30周年でもあるので、皆で広州を訪問しましょう」と述べました。途中でわが倶楽部の会員でもある吉田市長も参加してくださり、「皆さんの倶楽部が、みずみずしくておいしいライチのように元気な活動をして欲しい」と激励の言葉をいただきました。



講演中の瀬野首席領事



挨拶する河部会長



飛び入りで挨拶される市長

これからの交流は

- 「第1回飲茶会」を行います。周龍梅さんの指導によりみんなで点心作りをして、それを賞味しながら広州の話聞くという趣向です。どうぞご参加ください。
 - * 日時 2008年10月7日(火) 15:00～ 点心作り
18:30～ 飲茶&懇談会
 - * 会場 婦人会館あいれふ 調理実習室・研修室A
 - * 参加費 ライチ倶楽部個人会員 1,000円
一般参加者 1,200円
 - * 申込み FAX (0940-36-3049 千葉宅)、はがき 又は
Eメール (chiba.y01@city.fukuoka.lg.jp か y-chiba_naga@tnb.bbiiq.jp)迄
- 11月30日に行われる「中国語弁論大会」を福岡市と共催します。
- 来年1月頃、日本語を学んでいる中国人学生を招聘してインターンシップ交流が計画されています。具体化したらライチ倶楽部としても協力したいと考えています。

** コラム・広州雑学 ② **

飲茶の文化～その2 飲茶会を行う前に「茶」についてもう少し勉強を続けましょう。

茶楼

中国の他所はお茶を飲む店として“茶室”“茶館”(喫茶室、喫茶店のイメージか?)がありますが、広州ではもっと大規模な“茶楼”で飲茶を楽しみます。“楼”は建物全体のイメージなのです。代表的な茶楼としてその名称に文園、西園、北園など“園”のつくもの、陶陶居、陸羽居のように“居”のつくものがあり、泮溪酒家のように池のある庭園風の建築や、陶陶居のように豪華な古式建築風のもの、また近代ホテル風のものなどがあるそうです。(“走進広州”より)



日本の旅行ガイドブックではこれらはすべてレストランとして紹介されています。広州ではレストランで飲茶をし、食事酒も楽しむのだと理解した方が分かりやすいかもしれませんね。

茶点

茶点は広州の茶文化の重要な要素です。点心(てんしん)という言葉は日本でもよく知られるようになっていますが、茶点という言い方はちょうど日本語の「お茶請け」に当たります。茶食とも言い、広州の茶点は皮と餡の独特な製法で 1000 種類もあるそうです。日本人の感覚ではお茶請けというより食事に近いものも含まれています。

茶楼にはいってテーブルに陣取ると、ウェイターがお茶の注文を聞きに来ます。好みのお茶を頼んで飲んでいると、テーブルの間を沢山の点心をのせたワゴンが回って来ます。ワゴンをのぞき込みあれこれ選んで注文します。急須にお茶がなくなるとふたをずらしておけばお湯を注ぎに来てくれます。

新鮮な空気を吸いながら朝早く茶楼へ出かけ、“一盅两件”(急須一個と点心二種)でゆっくり“嘆”し(味わい)、親しい友人と語らう——体にも心にも良いことばかりだとのこと。納得です！

涼茶

広州独特のお茶としてもう一つ、忘れてはならないものに涼茶があります。高温多湿の夏が長く、体調を崩しやすい気候風土の広州人の間に清代から伝わっている伝統的な健康茶で、清熱解毒効果のある10数種類の薬草を煎じてつくられます。真っ黒くてやや苦いものですが、広州人にとっては夏の生活必需品と言え、家庭で煎じられる以外に、街のあちこちでも売られています。こんなに地球温暖化が進んだら、福岡でも涼茶を飲んだ方がいいかも…。

*会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。連絡先：chiba.y01@city.fukuoka.lg.jp または y-chiba.naga@tnb.bbiq.jp